

第 10 章 壁面緑化等調査

壁面緑化とは建築物の外壁や擁壁等を対象として行う緑化であり、空中写真による緑被調査ではその実態の把握ができない。

そこで、本調査では、現地調査によって壁面緑化の手法から「壁面緑化」および「緑のカーテン」に分類し、調査を行った。

10-1 調査の方法

区内にある壁面緑化及び緑のカーテンについて、箇所数と緑化面積、樹種等について調査を行った。対象は区内全域の道路上から視認できる、構造物の壁面上に緑化されているものとした。

調査対象を表 10-1 に、調査項目を表 10-2 に示す。

表 10-1 調査対象

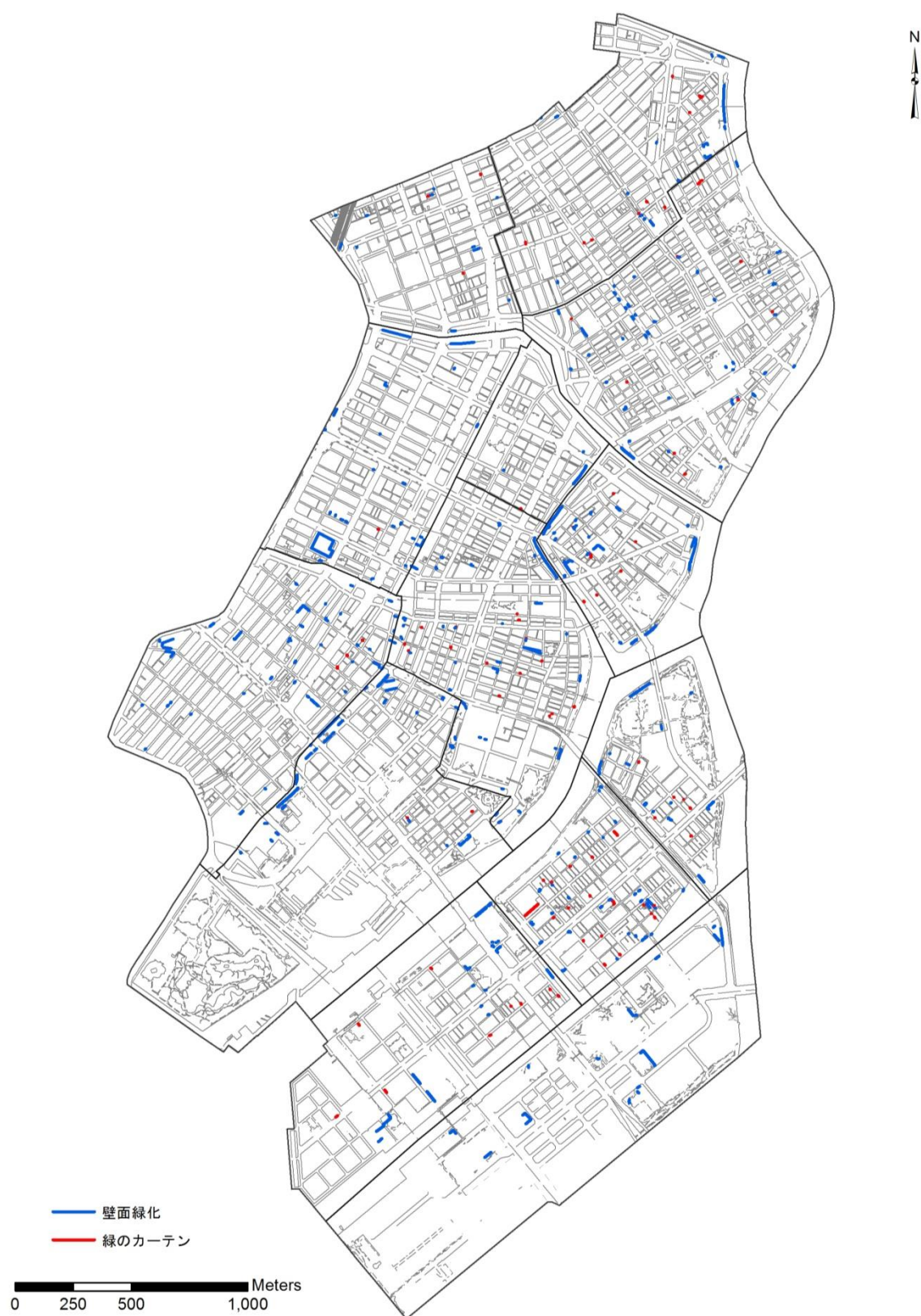
	壁面緑化	緑のカーテン
対象植物	木本類または多年生の草本類 永続性のある植物	1 年生の草本類
対象の緑化形態	● 建築物、構造物の壁面を登はん、下垂するもの ● ネットや支柱等の支持体に植物を絡ませて壁面を緑化するもの ● 壁面に設置した植栽基盤に植物を生育させるもの	ネットや格子状の支保材に植物を絡ませてカーテン状の形態をとるもの
最小単位	1 m ² 程度（おおむね 1 m×1 m）以上	
調査時期	8 月～9 月	

表 10-2 調査項目

	壁面緑化	緑のカーテン
位置	○	○
緑化主体	建築物、塀またはフェンス、道路・橋梁、河川護岸、その他	-
緑化面積	○	○
主要構成植物	○	○
植栽形態	登はん型、パネル型、下垂型、その他	-
写真撮影	意匠的に優れているもの、管理が良好なもの、工夫した緑化を行っているもの等	

10-2 壁面緑化・緑のカーテンの分布状況

区内の壁面緑化・緑のカーテンの分布状況を図 10-1 に示す。



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。
(承認番号) 29都市基交著第93号

図 10-1 壁面緑化・緑のカーテン分布図

中央区緑の実態調査 (第5回)

10-3 壁面緑化の現況

1) 地区別の壁面緑化の状況

- 区全域の壁面緑化箇所は 316 カ所、合計緑化面積は 15,039 m²
- 最も壁面緑化箇所の多い地区は日本橋人形町・浜町河岸地区の 52 カ所
- 最も壁面緑化面積の大きい地区は東京駅前地区の 2,204 m²

本調査で得られた壁面緑化の事例を図 10-2、地区別の壁面緑化の状況を表 10-3、図 10-3 に示す。

区全体の壁面緑化は 316 カ所、緑化面積は 15,039 m²であった。

地区別の箇所数をみると、最も壁面緑化箇所数が多いのが日本橋人形町・浜町河岸地区の 52 カ所、次に銀座地区の 40 カ所、京橋地区の 36 カ所の順となる。壁面緑化面積では東京駅前地区の 2,204 m²が最も大きく、次いで築地地区の 1,869 m²、銀座地区の 1,549 m²となる。

また、地区別の緑化の規模をみると、日本橋兜町・茅場町地区では 1 箇所あたりの面積が 137.0 m²と最も大きく、次いで東京駅前地区の 91.8 m²、晴海地区の 81.9 m²であった。

商業・事業所のビルなどにおいて、壁面を利用した緑化が多く整備されている。



京橋三丁目



入船二丁目



新川一丁目



久松小学校・久松幼稚園

図 10-2 地区別の壁面緑化の状況

表 10-3 地区別の壁面緑化の状況

地区	箇所数	合計緑化面積(m ²)	1箇所あたりの平均緑化面積(m ²)
日本橋問屋街地区	17	754	44.4
日本橋本石町・室町・本町地区	12	148	12.3
日本橋兜町・茅場町地区	4	548	137.0
東京駅前地区	24	2,204	91.8
日本橋人形町・浜町河岸地区	52	1,309	25.2
銀座地区	40	1,549	38.7
新川地区	23	1,419	61.7
京橋地区	36	1,265	35.1
築地地区	30	1,869	62.3
佃地区	16	717	44.8
月島地区	28	883	31.5
勝どき・豊海地区	20	1,227	61.4
晴海地区	14	1,147	81.9
区全体	316	15,039	47.6

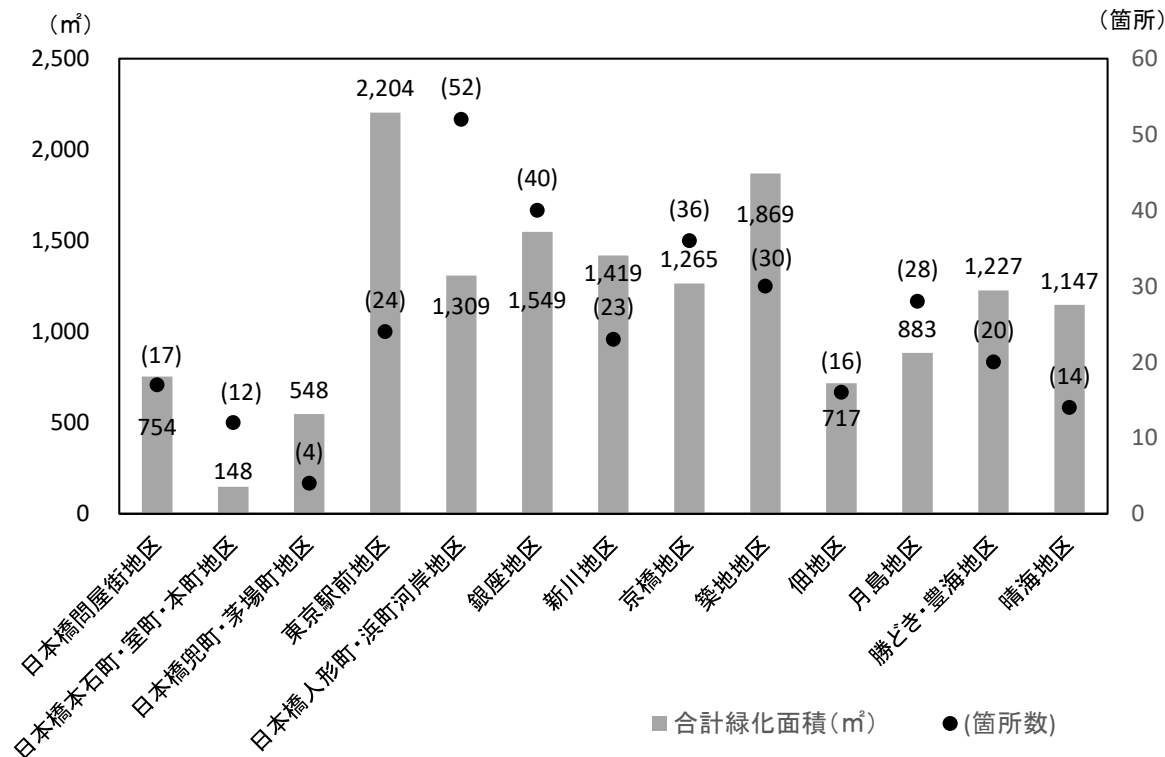


図 10-3 地区別の壁面緑化の状況

2) 面積規模別の壁面緑化の状況

- 緑化面積 25 m²未満の壁面緑化は 185 カ所で、全体箇所数の 58.5%
- 緑化面積 100 m²以上の壁面緑化は 42 カ所で、全体箇所数の 13.3%

面積規模別の壁面緑化の状況を表 10-4 に示す。

箇所数では 25 m²未満のものが 185 カ所で最も多く、全体箇所数の 58.5%を占める。一方、100 m²以上のものが 42 カ所で、緑化面積は 8,656 m²に及び、全体箇所数の 13.3%を占めている。

小規模な壁面緑化が区内に点在している一方で、大規模な壁面緑化も整備されていることが分かる。

表 10-4 面積規模別の壁面緑化の状況

壁面緑化の 緑化面積規模	箇所数	合計緑化 面積(m ²)	壁面緑化の 箇所の割合(%)
25m ² 未満	185	1,768	58.5
25m ² 以上50m ² 未満	43	1,499	13.6
50m ² 以上75m ² 未満	33	1,990	10.4
75m ² 以上100m ² 未満	13	1,126	4.1
100m ² 以上	42	8,656	13.3
合計	316	15,039	100.0

※四捨五入の関係で行列の合計値が合わない場合がある。

3) 樹種別の壁面緑化の状況

- 樹種としてはキツタやテイカカズラなどのつる性植物が多く植栽されている。

樹種別の壁面緑化の状況を表 10-5 に示す。

表 10-5 樹種別の壁面緑化の状況

樹種名	箇所数	合計緑化 面積(m ²)
混植(キツタ、テイカカズラなど)	89	5,125
キツタ	85	5,518
ナツツタ	46	1,732
カロライナジャスミン	20	149
テイカカズラ	8	374
イタビカズラ	7	689
フジ	7	164
ブドウ	7	60
ノウゼンカズラ	6	420
その他	41	808
合計	316	15,039

4) 植樹形態別の壁面緑化の状況

- 植栽形態では登はん型が最も多く、箇所数で 244 カ所、合計面積は 10,925 m²

植樹形態別の壁面緑化の状況を表 10-6 に示す。

表 10-6 植樹形態別の壁面緑化の状況

植栽形態区分	箇所数	合計緑化面積(m ²)
登はん型	244	10,925
パネル型	35	1,367
下垂型	32	2,590
その他	5	157
合計	316	15,039

5) 緑化主体別の壁面緑化の状況

- 緑化主体のうち、商業施設の建築物が最も多く、箇所数で 98 カ所、合計面積は 3,184 m²

緑化主体別の壁面緑化の状況を表 10-7 に示す。

箇所数では商業施設が 98 カ所と最も多く、次いで公共施設と住宅施設の 45 カ所、塀またはフェンスの 41 カ所となっている。

表 10-7 緑化主体別の壁面緑化の状況

緑化主体		箇所数	合計緑化面積(m ²)
建築物	公共施設	45	3,417
	商業施設	98	3,184
	住宅施設	45	1,863
	工業施設	5	139
塀またはフェンス		41	1,362
道路・橋梁		15	1,215
河川護岸		25	2,863
その他		42	996
合計		316	15,039

10-4 緑のカーテンの現況

1) 地区別の緑のカーテンの状況

- 区全域の緑のカーテンは 88 カ所、合計緑化面積は 483 m²
- 月島地区が全地区で箇所、緑化面積ともに 19 カ所、100 m²と最も多い。

本調査で得られた緑のカーテンの事例を図 10-4 に、地区別の緑のカーテンの状況を表 10-8、図 10-5 に示す。

区全体の緑のカーテンは 88 カ所、緑化面積 483 m²が確認された。地区別の箇所数をみると、最も多いのが月島地区の 19 カ所、次に京橋地区の 15 カ所、日本橋人形町・浜町河岸地区の 11 カ所の順となる。緑化面積では月島地区の 100 m²が最も大きく、次いで日本橋問屋街地区の 87 m²、日本橋本石町・室町・本町地区の 86 m²であった。

また、地区別の緑化の規模をみると、1 カ所あたりの面積が大きいのは日本橋本石町・室町・本町地区の 28.7 m²であり、次いで日本橋問屋街地区の 9.7 m²、勝どき・豊海地区の 6.3 m²の順であった。



月島区民センター



月島幼稚園

図 10-4 緑のカーテンの事例

表 10-8 地区別の緑のカーテンの状況

地区	箇所数	合計緑化面積(m ²)	1箇所あたりの平均緑化面積(m ²)
日本橋問屋街地区	9	87	9.7
日本橋本石町・室町・本町地区	3	86	28.7
日本橋兜町・茅場町地区	1	6	6.0
東京駅前地区	1	3	3.0
日本橋人形町・浜町河岸地区	11	50	4.5
銀座地区	4	24	6.0
新川地区	8	19	2.4
京橋地区	15	35	2.3
築地地区	2	4	2.0
佃地区	6	12	2.0
月島地区	19	100	5.3
勝どき・豊海地区	9	57	6.3
晴海地区	0	0	0.0
区全体	88	483	5.5

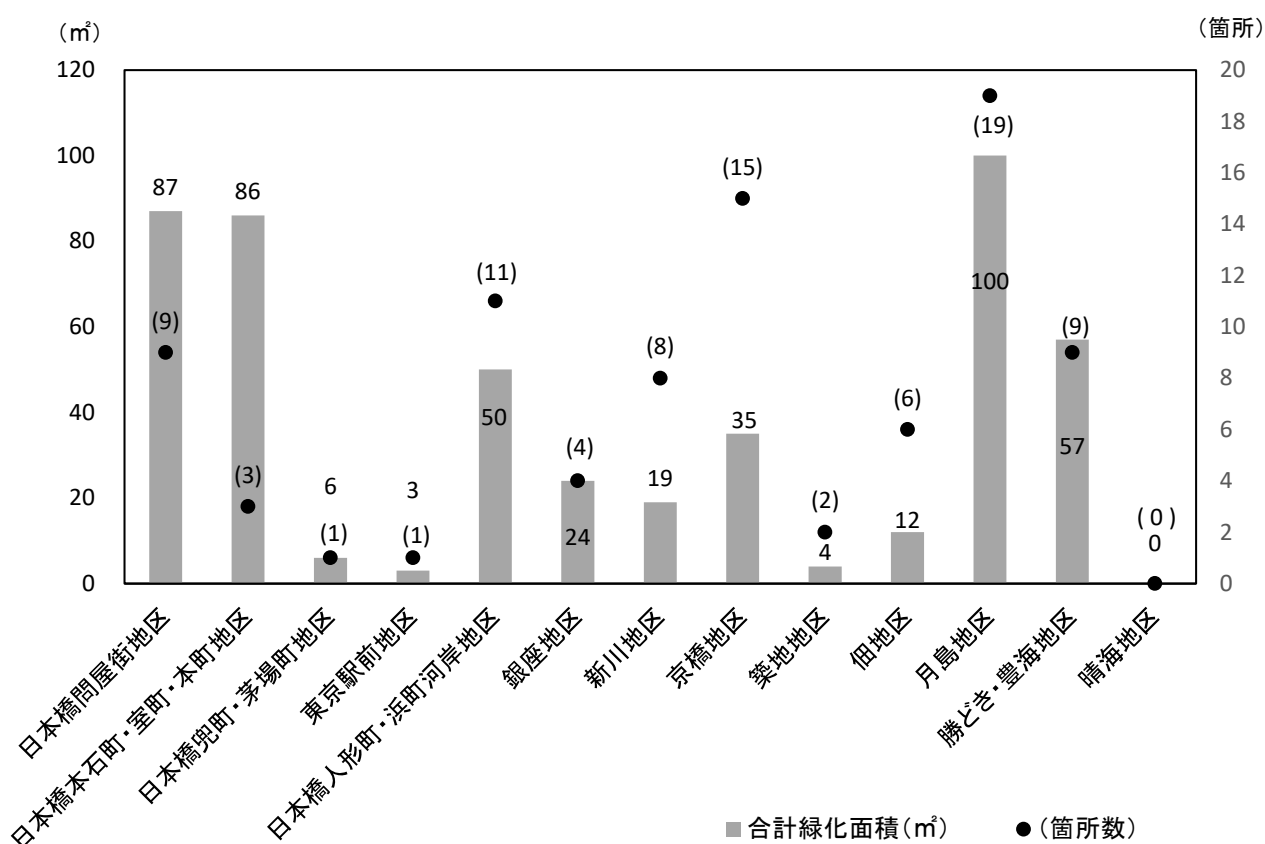


図 10-5 地区別の緑のカーテンの状況

2) 面積規模別の緑のカーテンの状況

- 5㎡未満の緑のカーテンは66箇所、全体箇所数の75.0%

面積規模別の緑のカーテンの状況を表10-9に示す。

面積5㎡未満のものが66箇所、全体箇所数の75.0%を占めている。緑のカーテンは夏季の日差し除けなどの目的で行うもので、プランター等を利用し戸建て住宅の軒先などに見られた。

表10-9 面積規模別緑のカーテンの状況

面積規模	箇所数	合計緑化面積(㎡)	箇所別構成比(%)
5㎡未満	66	128	75.0
5㎡以上10㎡未満	9	58	10.2
10㎡以上25㎡未満	10	151	11.4
25㎡以上	3	146	3.4
合計	88	483	100.0

3) 植物別の緑のカーテンの状況

- 箇所数、緑化面積ともにアサガオが38カ所、212㎡と最も大きい。

植物別の緑のカーテンの状況を表10-10に示す。

箇所数で見ると、アサガオが38カ所、212㎡と最も多く、ほかに数種類を寄せ植える混植などが見られた。

表10-10 植物別の緑のカーテンの状況

植物名	箇所数	合計緑化面積(㎡)
アサガオ	38	212
混植(アサガオ、ゴーヤなど)	20	116
ゴーヤ	17	102
キュウリ	2	12
ノウゼンカズラ	2	3
フウセンカズラ	2	2
ヘチマ	1	5
不明	6	31
合計	88	483